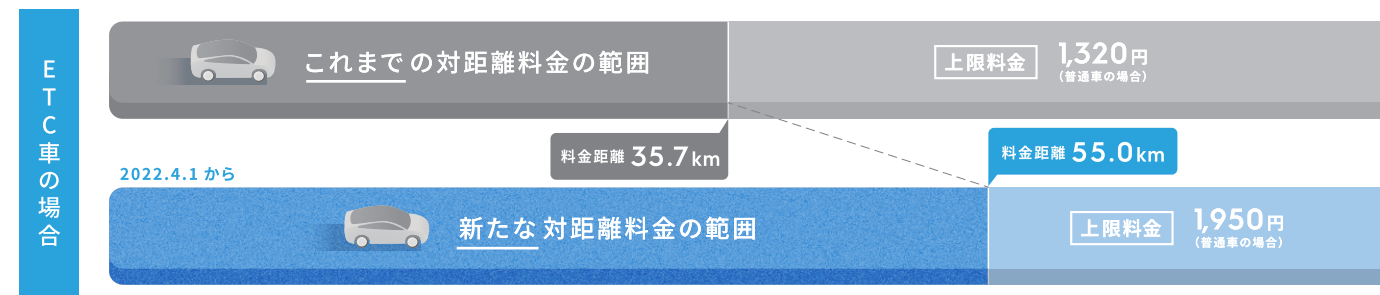


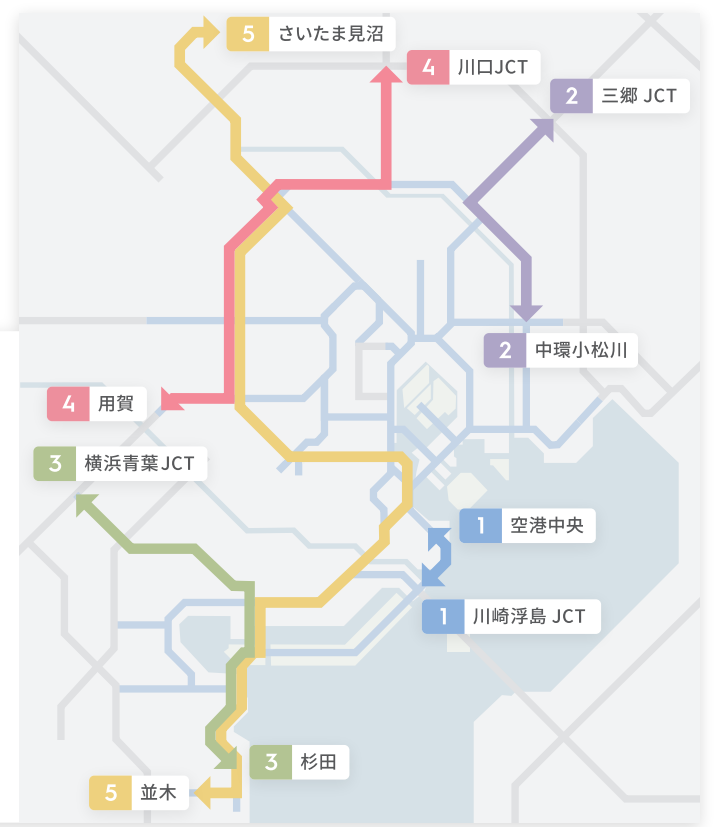
上限料金の見直し 料金距離 35.7km 超のご利用の料金を変更します

ETC車は上限料金を見直し、料金距離35.7km超のご利用の料金を変更します。また料金距離55.0km超のご利用について、新たな上限料金(普通車1,950円)を設定します。現金車は一部の区間を除いて、ETC車の上限料金(普通車1,950円)をお支払いいただきます。*1

*1 郊外方向の端末入口料金所等では、ご利用が可能となる最速出口等までの距離を「料金距離」とし、その「料金距離」に応じた料金をお支払いいただきます。なお、料金距離とは、基本料金を決めるために当社が定めた入口、出口間の距離をいいます。料金距離は実際の走行上の距離とは異なる場合があります。



区間と料金(例)				料金(普通車・ETCをご利用の場合)	
				これまで	2022.4.1から
1	空港中央 ↔ 川崎浮島 JCT	4.2km		300円	
2	三郷 JCT ↔ 中環小松川	18.1km		750円	
3	横浜青葉 JCT ↔ 杉田	33.3km		1,250円	
4	川口 JCT ↔ 用賀	38.6km	1,320円 (上限料金)	1,420円	
5	さいたま見沼 ↔ 並木	86.6km		1,950円 (上限料金)	



首都高の
上限料金と割引制度が
変わります。

2022.4.1
AM0:00 から

大口・多頻度割引の割引率を
最大45%まで更なる拡充

物流を支える車の負担が急激に増加しないよう、ETCコーポレートカードの利用者が対象の大口・多頻度割引の割引率を、これまでの最大35%から最大45%*2まで拡充します。

*2 中央環状線の内側を通過しない利用分の割引率を含む
・大口・多頻度割引の割引率の拡充は2026年3月末までの措置

深夜0~4時*3の
深夜割引20%割引を導入

混雑している昼間のご利用から、比較的交通量が少ない深夜のご利用への転換を促すため、深夜割引を新たに導入。深夜0時から4時までの間に首都高速道路の入口等を通る車両の料金を20%割引します(ETC無線通行に限る)。

*3 深夜割引の適用判定は、首都高の最初のETCアンテナとの通信時間が基準

車種区別料金(下限額~上限額)*4 ETCをご利用の場合

軽・二輪	280円~1,590円
普通車	300円~1,950円
中型車	330円~2,310円
大型車	400円~3,110円
特大車	550円~5,080円

*4 料金額は0.1km毎の料金距離に応じて、10円単位で加算されます。
・2021年4月から延長継続していた中型車及び特大車の「暫定車種間比率」は2022年3月31日に終了します。
・上限料金の見直しに伴い、横浜北西線と東名高速を連続して利用する場合の料金は、2022年3月31日に終了します。

まだETC車載器を
搭載していない方へ

2022年
4月1日からの
ご利用料金 + ETC専用
料金所の拡大

によりETCは、ますます必要になります。
下記キャンペーンのご利用や「ETCパーソナルカード」も
併せてご確認ください。

キャンペーン ETC車載器の購入を助成します!

ETC車載器を未搭載のお客さまを対象に、購入費用を助成するキャンペーンを実施します。詳細はホームページをご確認ください。

キャンペーン関連情報はETC2.0くん*で検索!

ETC2.0くん

<https://www.shutoko.jp/ss/etc2portal/index.html>

首都高ドライバーズサイト 料金・ルート案内

首都高料金

<https://search.shutoko.jp>

4月1日からの料金は3月中に検索可能となる予定です。

新たな料金 / ETC専用 特設サイト

詳しくは

首都高料金 首都高 ETC専用 で検索

<https://www.shutoko.jp/ss/tolls-and-etc/>

お問い合わせ

首都高お客さまセンター 03-6667-5855
[営業時間 24時間(年中無休)]

